

No.190	令和7年度 生産性の抜本的な向上を加速化する革新的新品種開発のうち食料安全保障強化に向けた水稻の低コスト・多収栽培技術の開発委託事業	
機関名	農林水産省	
募集締切 (公募機関)	2026年3月18日(水) 17時	
本部研推締切日	研究推進部 事前連絡締切日	2026年3月4日(水)
	原議書提出締切日	2026年3月11日(水)
応募方法	e-R a dによる提出 ※本公募は事務局において事前了解の手続きを行いますが、 e-R a dへの応募情報の入力 は各申請者が行ってください	
所属研究機関の 承認(e-Rad)	必要	
研究推進部 事前了解 (原議書の回付)	必要	
概 要	<p>●事業概要 令和6年に改正された食料・農業・農村基本法に基づき閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」（令和7年4月）では、令和 12 年の米の生産コストを低減させる目標が設定されており、その目標達成のためには省力的な栽培技術や生産性を向上させる栽培技術を開発し、生産現場に普及させることが必要です。</p> <p>このため、①各地域の不良環境条件において安定的に収量を得るための乾田直播栽培技術の開発、②各地域条件に適した水稻再生二期作栽培技術の開発及び③節水型乾田直播の確立に向けた技術の評価・開発を行います。</p> <p>●公募研究課題の研究開発内容 米の生産コストを大幅に低減するために、水稻の低コスト・多収栽培技術として、乾田直播、再生二期作及び節水型乾田直播栽培技術の開発・評価を実施します。</p> <p>乾田直播は、省力化により生産コストの低減や経営規模の拡大が期待できる一方、播種時にほ場が乾きにくい等の不良環境条件では収量が安定しないことが課題です。そのため、各地域において、不良環境条件においても安定的な収量を実現するために品種の選定や栽培管理技術の開発等を実施し、移植と同等の収量を安定的に得るための乾田直播体系を構築します。</p> <p>再生二期作は、画期的な単収の向上が期待できる一方、生産現場への普及に向けた技術の検証が必要です。そのため、各地域の条件に適した品種の選定や栽培管理技術の開発等を実施するとともに、生産コスト低減効果の検証を行います。</p> <p>節水型乾田直播は、低コスト化に資する新たな直播栽培技術として注目されていますが、科学的な検証や評価が十分に行われているとはいえません。そのため、本技術の確立に向けて水管理技術等の栽培管理技術の評価・開発や、GHG 排出量や生物多様性への影響の評価、生産コスト低減効果の検証を行います。</p>	

※ 貴部局にて申請がある場合は、事前連絡締切日までに所定の《事前連絡様式》にて、研究代表者名・研究分担者名等の連絡をお願い致します。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。